

1 単元名

What do you like?～友だちにインタビューしよう～(Hi, friends!1 Lesson5)

2 単元の目標

- 言葉やジェスチャーを使い、好きなものについて尋ねたり答えたりして、相手と積極的に関わろう
としている。 (コミュニケーションへの積極的な態度)
- 色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。 (外国語への慣れ親しみ)
- 日本語と英語の音の違いに気付く。 (言語や文化に関する気付き)

3 単元について

本学級の児童は、4月から「世界のいろいろな言葉であいさつしよう」「ジェスチャーをつけてあいさつしよう」「いろいろなものを数えよう」「好きなものをつたえよう」という4つの単元を学習してきた。また、他国の言語や文化に興味をもち、基本的な挨拶や数の数え方、好きか嫌いかなどの表現に慣れ親しみ、色々なゲームを通して、友達とコミュニケーションを図る楽しさを体験してきた。

本単元では、お互いに「好きなもの」について積極的に尋ねたり、答えたりする表現”What～do you like?”を学習する。この表現は、特定の物事に対して好きか嫌いのみを尋ねる前単元で学習した”Do you like～?”よりも幅のある尋ね方であり、児童のコミュニケーションの幅も広がると考えられる。そこで、この表現を自然な形で使う場面として、本単元の第3・4時に友達にインタビューをして相手の好みを尋ねて、それに合った T シャツやハロウィンのパンプキンを作っていく活動を設定する。この活動では、自分の好みなどをはっきり相手に伝えたり、尋ねたりすることが必要になるため、積極的なコミュニケーションを図ることができる。また、第3・4時のまとめで、T シャツやハロウィンのパンプキンを作ってくれた友達に対する気づきを書く活動を取り入れた。この活動を元に、振り返り時に感想を伝え合う場を設定することで、コミュニケーションの仕方や内容、友達のよさへの気づきを全体に広め、「英語で伝えるのは楽しいな。」「もっと伝えてみたいな。」「友達の好みをもっと知りたいな。」という意欲化を図ることができる。と考えられる。

以上の活動を通して、児童に「自分(の好み)を友達に伝える喜び」「相手(の好み)を知る楽しさ」「自分と友達の(好み)類似点や相違点を発見する嬉しさ」を実感させたい。外国語を使って、コミュニケーションを図ることは、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手が伝えようとしていることを理解したりすることが、日本語の時ほど簡単にはできない。そこに言葉の壁ができるからであるが、だからこそ、試行錯誤しながらその壁を乗り越えて、お互いに意思疎通ができた時の達成感は大きくなるのだと考える。また、児童に外国語活動を通して、「英語の勉強ではなく、英語をコミュニケーションの手段として、学級の友達とより仲良くなる勉強である」ということを伝えることで、普段あまり交流していない友達との友情を築ききっかけになり、今後の人間関係作りに大きく関わっていくことを期待している。

4 児童の実態 (9月6日実施 対象児童19名)・・・質問紙法によるアンケートの実施

質問	回答	
	はい	いいえ
① 外国語活動が好きですか？	19名	0名
(理由) 以下複数回答		
ゲームが楽しい・・・・・・・・・・・・・・・・	10名	
英語を知ったり話したりすることが楽しい・・・・・・・・	5名	
あまり話さない友達と仲良くなれる・・・・・・・・	4名	
みんなの好きなことを知ることができる・・・・・・・・	3名	
② 外国語活動で大変な点は何ですか？		
(理由) 以下複数回答		
分からない単語があるについていけない・・・・・・・・	5名	
仲良くなりたい友達に話しかけられない・・・・・・・・	4名	
分からない単語を伝えたくても分からないから伝わらない・・	2名	
③ 外国語活動の時、大きな声で話していますか？	15名	4名
④ 外国語活動の時、相手の目を見て話していますか？	14名	5名
⑤ 外国語活動の時、ジェスチャーをつけて話していますか？	4名	15名
⑥ 外国語活動の時、進んで友達に話しかけていますか？	9名	10名

アンケートから「外国語活動を好きである。」と答えた児童は全員で、その中の多くの児童が「ゲームが楽しい。」と回答している。ゲームに意欲的に取り組んでいる様子からも、普段から外国語活動の授業を楽しみにしていることが分かる。

また、「普段あまり話さない友達と仲良くなれる。」という回答や「みんなの好きなことを知ることができる」という回答から、外国語でコミュニケーションを図り、「自分を友達に知ってもらい喜び」「相手を知る楽しさ」を感じている児童がいることが分かった。

一方で、外国語活動の大変な点として「分からない言葉があると意味が分からなくなる。」という回答があり、日本語と英語の間にある言葉の壁を感じている児童がいた。「伝えたいけど、英語の表現、もしくは単語が分からないから伝えられない。」という思いがそこにはあることが予想される。また、「外国語活動の時、ジェスチャーをつけて話していますか？」という問いに対して、ほとんどの児童が「いいえ」と答えている。

これらのことから、本単元では「たとえ英語で伝わらなくても、ジェスチャーで伝われば問題ない。だからジェスチャーを使って何とか伝えてみよう。」ということを伝え、ジェスチャーをしながら何とか英語で伝えようとしている児童をおおいに褒めて、コミュニケーションをすることに対して自信をもたせたい。

「仲良くなりたい友達に声をかけられなかった。」という回答から、「もっと相手のことを知りたい。仲良くなりたい。」という児童の願いがあると考えられる。本学級は単学級であり、幼稚園からずっと人間関係が固定されている。だからこそ、本時では「普段あまり話せてないけど、話してみたい」という児童同士でペアを組ませて、お互いに好みのハロウィンのパンプキンを送る活動をさせたい。そのためには教師が子どもの願いを元にして、意図的にグループ構成をしていく必要があると考えられる。

4 研究主題との関連

研究主題
心の国際化から、共に生きる社会へ ～国際性豊かな児童生徒の育成を目指して～
目指す児童像
“自分のよさを認め、互いに尊重し、協力し合って、共に生きようとする子”

情報技術の発達で、人と直接顔を合わせなくても、物を買ったり情報をやりとりしたりすることが可能になっている。便利になっている反面、コミュニケーション能力を身に付ける機会が少なくなっている。しかし、現代の国際社会においては、社会や経済のグローバル化が急速に発展し、異なる文化の共存や持続可能な発展に向けた国際協力が求められている。また、人材育成面での国際競争も加速している。このような国際社会にあつては、多種多様な考えをもった人々と相互理解を図るために外国語を用いたコミュニケーション能力が重要視されるようになっている。

本学会研究主題において、「国際性豊かな児童生徒の育成を目指す」ことが挙げられている。これは「互いに尊重し、協力し合って、共生しようとする」児童の育成を目指すことと同義である。互いに尊重・協力し合うためには、その前提条件としてコミュニケーションをして相互理解を図る必要がある。

そのためには小学校の段階から、児童が「友達のことを知ることは楽しいな」「友達に自分のことをもっと知って欲しいな」という思いを実感させる必要がある。このような実感の積み重ねが、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てていくと考える。

そこで、「外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童」を育成するために、以下の3点の視点を設定し、検証することとした。

- ① 児童が意欲的に活動できる題材の設定
- ② 普段関わりのない児童同士でのグループ作り
- ③ 振り返りカードの活用

① 児童が意欲的に活動できる題材の設定

コミュニケーションは、互いに相手のことを「知りたい」からこそ「聞きたい」、相手に「伝えたい」からこそ、「言いたい」という気持ちがあつて成り立っていく。そこで、児童が積極的にコミュニケーションを図れるために「知りたい」「伝えたい」という活動を設定する必要がある。

そこで、本時では友達にインタビューをして相手の好みを尋ねて、それに合ったハロウィンのパンプキンを作っていく活動を設定した。活動の流れとして、まず、前時の終わりに自分の好きなハロウィンのパンプキンを考えておく。次に本時では、友達同士で英語で、どんな色や形が好きなのかを伝え合いお互いのハロウィンのパンプキンを作っていく。

この活動をすることで、「自分の好きなハロウィンのかぼちゃを友達に伝える喜び」「相手の好きなハロウィンのかぼちゃを知る楽しさ」「自分と友達の作品の類似点や相違点を発見する嬉しさ」を実感することができ、意欲的に活動できると考える。

② 普段関わりのない児童同士でのグループ作り

アンケート結果から、外国語活動のよい点として「あまり話さない友達と仲良くなれるし、みんなの

ことを知ることができる。」という意見が多数あった。また、大変な点では「仲良くなりたい友達に声をかけることができない」という意見が挙がっていた。心の中でお互いについて知って仲良くなりたいと思っても、そのきっかけがないのだろうと考えられる。そこで、前時では、教師がお互いに普段あまり話さない友達同士でグループを作るように声かけをして、本時に臨ませたい。普段あまり話さない友達の好みを知ったり、自分の好みを知ってもらったりすることで、お互いの共通点や相違点に気付くことができ、相互理解をより深めることができ、「もっと友達のことを知りたい」「友達にもっと自分のことを知って欲しい」という思いを実感させることができると考える。この活動が、級友との友情を築ききっかけになるようにしたい。

③ 振り返りカードの活用

授業の導入とまとめに振り返りカードを使用する。導入の際に自己評価の項目を参照させ、めあてを決めさせることで、児童が活動の見通しをもつことができるため、意欲的に活動できると考える。

① 友達のパンプキンと、自分のパンプキンの違いや似ているところを紹介し合えましたか。

(コミュニケーション)

② 友達の目を見て話を聞いたり、友達に聞こえる声で話したりしましたか。(コミュニケーション)

③ 友達が伝えようとするのを聞き取ろうとしましたか。(慣れ親しみ：聞く)

④ 英語やジェスチャーを使って、自分の伝えたいことを話そうとしましたか。(慣れ親しみ：話す)

この振り返りカードを元にして、感想を伝えあう場を設定し、一人一人が活動における互いの頑張りについて振り返っていく中で、コミュニケーションの仕方や内容、相手のよさへの気付きを全体に広めていき、「友達って素敵だな」「もっと自分のことを伝えたいな」「英語を使ってやりとりするのは楽しいな」という意欲化を図りたい。また、本時終了後に、授業後にプレゼントをしてくれた友達に対して、感謝の言葉などを「すてきだねカードに」書き、互いに送り合うことで、今後の交流を深めることができるようにした。

5 指導計画・評価

時	学習活動	評価	教師の支援
1	<p>色や形の言い方を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の音の違いに気付き、色や形の言い方を知る。 1 指導者の言う色を探す。 【L1】音声教材を聞いて、どのTシャツかを考える。 【L2】音声教材を聞いて、誰がどのTシャツが好きかを考える。 2 「ポインティングゲーム①②」 【C】 “What color do you like? ” 	<p>【気】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本語と英語の音の違いに気付いている。 <p>〈行動観察・振り返りカード〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○色を表す言葉 red, blue, yellow, pink, green, black等と形を表す言葉の heart, star, circle, triangle等を日本語（外来語）と英語で比較し、音の違いに気付かせる。 ○音声教材の発音から、違いに気付いているかを振り返りカードで分析し、不十分な児童に支援を行う。
2	<p>好きな色や形を尋ねる言い方を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 色や形の言い方に慣れ親しみ、好 	<p>【慣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●色や形を聞いたり、言ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームを通して色や形の言い方に慣れ親しませる。 ○色や形について英語でう

	<p>きなものは何かを尋ねる表現を知る。</p> <p>◇「ポインティングゲーム③④」</p> <p>◇「ミッシングゲーム」</p> <p>【C】 “What color do you like? ”</p> <p>◇「ラッキーカードゲーム」</p>	<p>〈行動観察・ふり返りカード〉</p>	<p>まく言えない場合や、ジェスチャーや本を使って伝えるように助言する。</p>
3	<p>好きな色や形を尋ねる言い方に慣れよう</p> <p>・色や形の言い方や、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】 “What color do you like? ”</p> <p>【L3】 「さくらとたくのTシャツは何番かを考えよう。」</p> <p>【P】 「友達にTシャツを作ろう。」</p> <p>“What ~ do you like? ”</p> <p>を使い、隣どうしのペアで好みを尋ね合い、ワークシートの白いTシャツ台紙に模様を描く。</p> <p>次時のパンプキン作りに向け、デザインを考えておく。</p>	<p>【慣】</p> <p>●好きなものは何かを尋ねたり、答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返りカード〉</p>	<p>○色と形の言い方と “What ~do you like?” の言い方を繰り返し聞かせて表現に慣れさせる。</p> <p>○ペアでのやりとりでは、“~,please.” “Here you are.” “Thank you.” 等の言葉を加えさせ、これらが気持ちよくコミュニケーションを図る上で、大事な言葉であることに気付かせる。</p>
4 本 時	<p>英語でインタビューして、友達にかパンプキンをプレゼントしよう。</p> <p>・好きなものについて積極的に尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>【A】 「友達にパンプキンをプレゼントしよう。」</p> <p>“What color pumpkin do you like?”</p> <p>“What shape do you like?”</p> <p>“How many?”などの表現を使ってインタビューをする。聞き取ったことをワークシートに記入し、友達の好みに合ったパンプキンを作る。</p>	<p>【コ】</p> <p>●言葉やジェスチャーを使い、好きなものについて尋ねたり答えたりして、相手と積極的に関わろうとしている。</p> <p>〈行動観察・ふり返りカード〉</p> <p>【慣】</p> <p>●色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>〈行動観察・ふり返りカード〉</p>	<p>○積極的に友達に尋ねたり答えたりしながら、人によって好みが変わることを改めて感じさせる。また、友達のことを新たに知ることを通して、コミュニケーションの楽しさに気付かせる。</p> <p>○パンプキンを見せ合い、交流する時には “~, please.” “Here you are.” “Thank you.” 等言葉を使うように声かけをし、気持ちよくコミュニケーションを図るように支援する。</p>

※ **【L】** : Let's Listen **【P】** :Let's Play **【C】** :Let's Chant **【A】** :Activity

6 本時の指導

○言葉やジェスチャーを使い、尋ねたり答えたりして、相手と積極的に関わろうとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。

(外国語への慣れ親しみ)

時配	児童の活動	○教師の支援 ●評価	準備物
1	<p><warming up></p> <p>1 あいさつをする。</p> <p>T:How are you?</p> <p>C:I am～</p>	○大きな声や笑顔であいさつできた児童をほめる。	
5	<p><main activity></p> <p>2 学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>英語でインタビューして、友達にパンプキンをプレゼントしよう。</p> </div>		
5	<p>3 色や形の語彙や、尋ね方、答え方の表現を復習する。</p> <p>色：white,black,red,blue,yellow,green</p> <p>形：circle,triangle,heart,star,square</p> <p>表現：What color do you like?</p> <p style="padding-left: 40px;">What shape do you like?</p> <p style="padding-left: 40px;">How many?</p>	<p>○児童に今日の活動の内容を知らせて、見通しを持たせる。</p> <p>○振り返りカードの評価の欄を参照させて、自分のめあてを決めて活動できるよう支援する。</p> <p>○どんなことを頑張りたいか発表できるように伝える。</p>	<p>・振り返りカード</p> <p>・掲示物</p>
5	<p>4 教師と児童がデモンストレーションをする。</p> <p>T:Suzu,What color pumpkin do you like?</p> <p>C:I like blue pumpkin.</p> <p>T:What shape do you like?</p> <p>C:I like triangle and star</p> <p>T:What color triangle do you like?</p> <p>C:Black triangle.</p>	○教師と代表児童がデモンストレーションを行い、ワークシートの使い方を説明することで児童に活動の見通しを持たせる。	・ワークシートを拡大コピーした物

	<p>T:How many black triangles? C:2 black triangles</p> <p>T:What color star do you like? C:I like red star</p> <p>T:How many red stars C:3 red stars</p>		
1 5	5 グループになった相手に英語でインタビューをして、パンプキン作りをする。	<p>○もし、表現を忘れても、ジェスチャーを使えば伝えることができることを助言する。</p> <p>○積極的にジェスチャーを使ったり、英語を使ってコミュニケーションしている児童を称賛する。</p>	・ワークシート
4	5 出来上がったパンプキンを見せ合い、お互いに交流する。	<p>○パンプキンをお互いに渡すとき、“Here you are” “Thank you!” “nice!”などの言葉をかければ、気持ちよくコミュニケーションを図ることができるということを助言する。</p> <p>○出来上がったパンプキンと本人の描いたパンプキンを比べて、色や形、数などについて確認しながら、交流できるように確認しておく。</p>	
1 0	<p><reflection></p> <p>6 振り返りカードを書き、学習のまとめをする。</p>	<p>○振り返りカードを書くように伝え、それを元に、本時の授業の感想を交流することで、これからの外国語活動への意欲につなげられるようにする。</p> <p>●言葉やジェスチャーを使い、尋ねたり答えたりして、相手と積極的に関わろうとしていたか。【コ】 <行動観察・振り返りカード></p> <p>●色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しめたか。【慣】 <行動観察・振り返りカード></p>	

※授業後に、パンプキンを送り合った児童同士で「すてきだねカード」を書いてお互いに送り合う活動を行う。